

つよく・やさしく・心をこめて

三勲小だより



平成30年1月26日(金)

<朝礼の話>

寒さが厳しくなりました。インフルエンザが流行しており、閉鎖になった学級もあります。学校では、体力づくりや手洗い・うがいの励行などでしっかりと風邪やインフルエンザを予防していきたいと思ひます。ご家庭でも、具合の悪そうな時には温かくして早めに就寝させたり、受診させたりするなど無理のないようにしてください。

水が冷たくて、掃除もたいへんになってきましたが、子どもたちは毎日よく頑張っています。廊下を隅々までとてもきれいに拭いている子どもや、自分の掃除が終わり、私が来客用のスリッパを一つずつ拭いているのを見て、「校長先生、お手伝いしましょうか?」と言う感心な子どももいたりして、うれしく思っています。先日の放送児童朝会では、子どもたちに次のような話をしました。

おはようございます。

今日は皆さんに校長先生の好きな本を紹介しします。

この本です。題は「花さき山」と言ひます。道に迷って山に入ってしまったあやという女の子が、そこで出会った山んぼから、ふもとの村の人間が優しいことをすると、山にきれいな花が咲くということを教えてもらうという話です。

あやは、その前の日に、妹が新しい着物をほしがっていたので、自分もほしいけれど、買ってもらうのを我慢しました。この赤い花はその時のあやの優しい心が咲かせた花です。近くにある青い小さい花は、自分も飲みたいのに、お母さんのお乳を双子の弟に譲った赤ちゃんが咲かせた花です。いいことをするとききれいな花が咲くこの山は「花さき山」と呼ばれています。

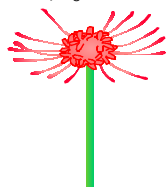
皆さんも、少し面倒だなあとか嫌だなあと思っても、した方がいいと思ひたことをしたり、自分がしたいことを我慢して、誰かのためになることをしたりすることがあるでしょう。

この間、校長先生は掃除の時にバケツの冷たい水に手を入れて雑巾をゆすいでいる人を見かけました。本当は冷たい水に手を入れるのは嫌ですね。でもその人は黙って一生懸命に雑巾をゆすいでいました。校長先生は「冷たいのによく頑張っている感心ね。」とその人を誉めました。たまたま校長先生が通って誉めたけど、その人はいつも、誰に誉められなくても、こうした方がいいと思ひて、冷たいのに頑張っているのでしょうね。さて、廊下にごみが落ちていたとします。

皆さんはどうしますか。わざわざ拾って捨てるのは少し面倒だなあと校長先生も思ひます。

でも、その時、皆さんの中のいい心はきっと「拾った方がいいよ。」と言ってくれるでしょう。その声に耳を傾けて、面倒でも、誰も見ていなくてもいいことができるといいですね。

三勲小の「花さき山」もきっとどこかにあると思ひます。いい



ことができたら「あっ！今、自分の花が咲いているな。」と思ひてくださいね。三勲小の花がたくさん咲くといいですね。今日は「花さき山」のお話をしました。これで校長先生のお話を終わります。

元ノートルダム清心学園理事長の故渡辺和子さんの「置かれた場所で咲きなさい」という著書の中にも、次のような詩が書かれています。

「王様のごめいれい」と言ひてバケツの中へ
手を入れる。
「王様ってだれ?」
「私の心のこと」

私たちの心の中にもこの王様はいて、ためらっている私たちによいことをしなさいと勧めてくれます。「花さき山」の話や子どもたちの姿、渡辺さんの著書から、どの子どもたちにも、この心があり、よいことを自分で選択し、やり遂げていく力があるのだとあらためて思ひました。

<教育講演会>

20日(土)の参観日には多くの皆さんにご来校いただきまして、ありがとうございました。



授業参観の後は、三勲学区教育振興会・三勲小学校PTA主催の教育講演会がありました。交通事故で右腕を失いながら、看護師として働き、パラリンピック日本代表として活躍された伊藤真波さんが、「あきらめない心」と題して、夢をもつことや人と人のつながりの大切さなどをお話してくださいました。その時々にご自分はどう感じていたか、それは今思うとどうなのかなどを飾らずご自分の言葉でお伝えくださり、感動に胸が熱くなりました。

<親子と地域をつなぐ大合唱祭>

その後、岡山大学大学院教育学研究科との共催による「親子と地域をつなぐ大合唱祭」を行いました。岡山大学の虫明先生の素晴らしい歌声を聴いたり、地域や保護者の方、子どもたちが一緒に文部省唱歌などを歌ったりして、楽しい時間を過ごしました。この取組の一環として、3月17日(土)には岡山大学50周年記念館で「みんなで歌おう音楽会」が行われます。本校の児童、地域や家族の方は優先的に招待されます。チラシが届きましたら、お配りします。どうぞお楽しみに。



<学校飼育動物サポート事業>

本校ではうさぎを二羽飼っています。今年度は、岡山県獣医師会と教育委員会が協力して行っている「学校飼育動物サポート事業」実施校に指定され、獣医師さんに、飼育のサポートをしていただいています。



本校を担当して下さっているのは「こくたいちよう動物病院」の上田先生です。(偶然、私(校長)の家のうさぎの主治医さんでした。)これまで、飼育委員の児童を対象に、うさぎの基本的な飼い方や病気、食べ物などについて指導していただきました。

先日は、実際に二羽のうさぎを診ていただきました。うさぎの身体についてのお話を聞き、聴診器で心臓の音を聞いたり、歯が伸びていると餌が食べられなくなったり口の中が傷ついたりすることなどを教えていただいたりした後で、実際に口の中を見せていただいたり、伸びていた奥歯を切るところを見せていただいたりしました。

子どもたちは、うさぎの飼い方だけでなく、動物にも大切な命があって一生懸命に生きているということや、それを助ける獣医師さんがどんな仕事をしているのかということなど多くのことを学んだことだと思ひます。

<三勲小の一部>



今回は本当に「三勲小の校舎の一部」です。耐震改修工事でも、大詰めにになりました。現在は鉄筋ブレースというバツテンの補強の取り付けもほぼ終わり、校舎の塗装が行われています。校舎そのものの色はあまり変わりませんが、茶色でアクセントを付けることにしたため、少し感じが変わっています。

検査等すべてが終了するのは予定どおり3月ということですので。皆さんにはいろいろご不便をおかけしますが、もう少しお待ちいただけますようお願いいたします。